

No.72	発行: 日本甲虫学会 〒558 大阪市住吉区菟田2-16-5 レジデンス寿202 林 匡夫 Tel: (06) 698-2964 振替口座: 00990-8-39672
ねじればね	
30.Jan.,1996	

会報

本誌は昆虫学評論と同時に発行されるのが常であったが阪神大震災の為に、学会代表であった故大倉正文氏宅がほぼ全壊し、今回は本誌の編集が出来なかったようでした。本来12月に“評論”とともに発行されるべきでしたが評論も遅れていますので95年度大会の結果を踏まえて今後の当学会の運営等について述べておきたいと思います。

学会の運営体制はまだ最終的に固まってはいるのですが現在の一応の人的配置について述べておきます(確定的ではありませんので変更は有りえます)。

会長: 林 匡夫

運営委員: (会計) 野村英世, (編集) 林 靖彦, 水野弘造, 伊藤建夫, 安藤清志

編集委員: 森本 桂(委員長), 澤田高平, 岸井 尚, 大林延夫

出版部: 林靖彦, 水野弘造, 伊藤建夫

(編集委員についてはさらに数名の方に依頼する予定をしています)。

評議員: 河野 洋, 黒沢良彦, 中根猛彦, 上野俊一, 大川親雄, 久松定成, 木元新作

(評議員についてはさらに数名の方に依頼する予定をしています)

会計監査: 交渉中です

学会本部: 〒558 大阪市住吉区菟田2-16-5 レジデンス寿202 林 匡夫 方

Tel. 06-698-2964

学会の年会費は当面一般会員5000円とします。会費は前納とし、1月1日から12月31日までを1年度とします。“昆虫学評論”、及び“ねじればね”は各々当面年2回、従来通り6月と12月に発行します。なお“ねじればね”も本印刷にいたします。紙面は何れもB5版となります。

本来94年度の会計報告を早急にしなければならないのですが、収支の明細の分析が十分出来ていないので今しばらく時間を頂きたいと思います。いずれにせよ大きな赤字となっており故大倉会長の資金繰りの苦勞が偲ばれます(野村英世の調査により94年末における概略を報告します)。

“評論”の編集をパソコンを導入し、DTPにて完全版下作製を目指すことになりましたのでそれに伴って投稿規定にも手直しが必要となりました。また評論のレベル向上、諸般の情勢等も鑑みて、当学会に於いても実質的なレフェリー制(当学会に於いてはアドバイザー制と記述する)を導入することとします。以下に投稿規定の原案を掲載しますので当学会誌に投稿予定のある方はかならずご一読ください。

著作権

昆虫学評論及び”ねじればね”に掲載された著作は原則として本会に属する。

1. 執筆者自身が自分の著作の一部を複製・翻訳などの形で利用する場合、これに対して当会では原則的に意義申し立てをしたり妨げることはしない。ただし、執筆者自身でも全文を複製の形で他の著作物に利用する場合に限り、事前に本会へ文書で申出を行い、許諾を求めなければならない。
2. 第三者から論文の複製あるいは転載に関する許諾の要請があり、当会において必要と認めた場合は、執筆者に代わって許諾することがある。

投稿規定

1. 投稿は原則として当学会員に限る。登載は原則的には受領順によるが、全額実費負担の原稿は優先的に取り扱うことが可能である。但しアドバイザー制の導入により掲載の順位の変更がありうる。(原稿は適当な方の校閲を受けたものであることが望ましい)
2. 昆虫学評論には、当分の間、欧文原稿のみを掲載し、和文原稿は当面“ねじればね”に掲載されるものとする。またプレートは当分の間廃止し、図版はすべて本文内に収めて`textfig`扱とする。但し著者負担によるカラー・プレートは認める。原稿の長さは刷り上がり10ページ以内とし、超過ページの印刷経費は著者負担とする。
3. 原稿(本文、図、表および表紙)は下記の要領で作成し、2部(一部はコピーで)を編集幹事に書留で郵送する。原稿がワードプロセッサで打ち出されたもの時はDOSフォーマット化されたフロッピーに、コンピューターで打ち出されたものであるときは、その原稿をDOS-フォーマット化されたフロッピー(1.44MB以上)にストリップテキスト化されたものを入れて同時に提出することが望ましい。フロッピーが提出されることによって校正や編集上の負担が著しく軽減される。
4. 原稿の掲載上の体裁については編集委員に一任されたい。編集委員会はアドバイザーの意見に基づいて原稿の内容について著者に再検討や訂正を求めることがある。
5. 著者校正は原則として初校のみとする。校正での大幅な変更や追加は認めない。
6. 別刷は50部単位で作成し、50部(表紙なし)を学会負担とする。

原稿作成の要領

A. 欧文原稿

1. 用紙にはA4版を用い、左側に3 cm以上の余白をあげ、タイプライター、ワードプロセッサあるいはコンピューターで打ち出したものとする。行間はダブル。スペースとし、表題や見出しを含めていかなる場合(人名を除いて)も大文字だけでは打たない。
2. 報文原稿は、表題、著者名、所属機関とその所在地、または住所、摺上がり10行以内の英文の著者抄録(Abstract)、本文、文献の順に配列する。
提出原稿の一部は無処置で、他の一部は動、植物の属およびそれ以下の学名に下線を引き、また人名には二重の下線を引く(第一字を除いて)。引用文献は著者名のアルファベット順に並べ下記の様式で記す。

BLACKWELDER, R. E., 1936. Morphology of the coleopterous family Staphylinidae. *Smiths. misc. Coll.*, 94 (13): 1-102

——— 1952. The generic names of the beetle family Staphylinidae with an essay on genotypy.

Bull. U.S. natn. Mus., 200: i-iv+1-483.

MÜLLER, J., 1925. Terzo contributo alla conoscenza del genere Staphylinus L. Boll. Soc.ent.ital., 50: 40-48.

3. 報文中の採集または検視データは以下のように表記する。
(例) 3♂♂, 2♀♀, Amaishi, Hyôgo, 28. V. 1995, Y. HAYASHI leg.
4. 原稿には原稿用紙と同質の表紙をつけ、これに表題、ランニング・タイトル(簡略化した論文表題, 一欧文 40 字以内), 著者名, 連絡先を明記し, 赤字で原稿及び図表の枚数, 別刷り部数(表紙つき, 表紙なしの別を明記), その他連絡事項など記入。
5. 図は耐水性黒色インクで鮮明に描き, そのまま印刷出来るようにする。図の拡大(縮小)率を示したい場合は図中にスケールを入れる。原図には薄紙のカバーをかけ, これに著者名, 図の番号, 上の方向を示し, 図の裏にその種名を入れる。もし原図版上に取り扱い指定文字を入れるときにはかならず青鉛筆を用いる。原図の大きさは, 台紙を含めてB4(36 x 25.5)以内とされたい。また原図の返送が必要な場合はカバーにその旨を記入する。
6. 図の説明及び表はそれぞれ別紙に書き, 原稿末につける。
7. 原稿の送付先は当分下記とする。

評論

〒558 大阪市住吉区荻田 2-1 6-5 レジデンス寿 202 林 匡夫

〒666-01 川西市水明台 3-1-7 3 林 靖彦 Tel 0727-93-3712 FAX 0771-86-0863

ねじればね

〒611 宇治市木幡熊小路 1 9-3 5 水野弘造 Tel 0774-32-4929

〒614 八幡市男山雄徳 8 E 7-3 0 3 伊藤建夫 Tel 075-983-3491

和文原稿について

和文原稿は当分の間“ねじればね”紙上にのみ掲載の予定であるので, 新しい分類学的処理を含む内容の論文の掲載は出来ません。“ねじればね”は当分年 2 回の発行として, 1 号 4-8 頁建てとする。分布, 生態などの短報, 分類学的な解説やノート, 同定の手引き, その他役にたつ論説, 情報など幅広い内容で紙面を作っていきたいとかがえています。

原稿募集

第 51 卷以降の“評論”及び“ねじればね”の原稿を募集します。未だ若干の原稿が投稿されているだけです。発行は 6 月 15 日および 12 月 15 日に出来るよう努力しています。(出版部)

学会からのお願い

前記しましたように現在学会の経営は非常に苦しい状態です。1996 年度を含めて会費未納の方は早急に納入して下さいようお願い申し上げます。また未入会の甲虫ヤさんをご存知でしたら, 是非入会をお奨め下さい。経営の改善, 安定の為にはさらに多くの会員の獲得が急務となっています。宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

'96.4. 8

平成⁷年度(1994)収支決算書
 (自 平成⁶年1月1日—至 平成⁶年12月31日)

収入の部		支出の部	
会費	1,184,750	印刷費	2,051,240
バックナンバー代	78,450	通信費*	275,080
別刷代	109,480	消耗品費**	44,979
印刷費実費負担金	144,000	大会費	39,501
雑収入	200,000	幹事会費	4,120
次年度繰越不足金	1,954,606	雑費***	40,000
		前年度繰越不足金	1,216,366
合計	3,671,286	合計	3,671,286

(*過去7年間の海外通信費150,500円を含む；**郵便振替用紙印刷費41,200円を含む；***大倉・石田両氏の香料, 献花代金)

新入会員



復活



住所変更



逝去 (謹んでご冥福をお祈りします)



退会

